

種 目	新 劇	
対 象	14歳～19歳の青少年	14歳～19歳の青少年
公演団体	劇 団 青 年 座	劇 団 青 年 座
演 目	「ブンナよ木からおりてこい」	「ブンナよ木からおりてこい」
出演者等	スタッフ 演 出 篠崎光正ほか キャスト 佐藤祐四ほか	スタッフ 演出 篠崎光正ほか キャスト 佐藤祐四ほか

### ③ こども芸術劇場

こどもに対し、その成長段階に応じた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、その豊かな情操のかん養を図り、もって健全な成長に資することを目的とし、県内3ヶ所で開催した。

種 目	音 楽 劇		合 唱
期 日	8月6日	8月7日	10月29日
会 場	須賀川市文化センター	福島県文化センター	福島県立盲学校
主 催	文化庁 福島県教育委員会 須賀川市教育委員会	文化庁 福島県教育委員会 福島市教育委員会 (財)福島県文化センター	文化庁 福島県教育委員会 福島県立盲学校
鑑賞者数	878人	1,583人	159人
対 象	10歳～13歳のこども	10歳～13歳のこども	盲学校生徒
公演団体	劇 団 四 季	劇 団 四 季	東京混声合唱団
演 目	「冒険者たち」 ガンバとその仲間	「冒険者たち」 ガンバとその仲間	合唱の名曲 みんなの歌等
出演者等	スタッフ 浅利慶太ほか キャスト 飯野おさみほか	スタッフ 浅利慶太ほか キャスト 飯野おさみほか	指 揮 田中信昭 ピアノ 蛭田真紀子

### ④ 第3回県展移動展

地方に優れた芸術文化を紹介することによって、地方特有の文化を高め、自らの文化を創造する力を育てる目的で、昭和44年から実施してきた「福島地方巡回展」を昭和52年から内容の充実と部門の拡大を図り、「県展移動展」と名称を改めた。本年は、その5年目で移動した作品101点は、第35回県展に出品された招

行 事 名	期 日・時 間	会 場	内 容
短 歌 大 会	10月4日	鹿島町民体育館	選者 山本 友一 申込締切 7月31日 問合先 鹿島町教育委員会 <一首1,000円・昼食を含む>
	10時30分～15時30分		
詩祭・講演と朗読の集い	10月4日	原町市文化センター	講師 石垣 りん(日本現代詩人会々員) 講演 各地区代表による詩の朗読・新刊詩集著者紹介等 <参加無料>
	10時30分～15時30分		
相 双 写 真 展	10月9日～11日	相馬市民会館	写真の公募展 問合先 相馬市教育委員会 申込締切 8月10日 審査員 菅野 善勝 <入場無料>
	9時～16時		
三 曲 演 奏 会	10月11日	原町市体育館	尺八・琴等の演奏会 尺八(都山流・琴古流) 琴(山田流・生田流) <入場料 500円>
	12時00分～16時00分		

待及び受賞等の作品であり、多彩で質の高い内容により各会場とも好評を博した。

### ア 期日・会場・観覧者

6月25日～6月28日	北会津村農村改善センター	1,384人
7月2日～7月5日	鯉岩村立鯉岩小学校	1,359人
7月9日～7月12日	小野町公民館	2,363人
7月16日～7月19日	檜葉町民体育館	1,525人
7月23日～7月26日	鮫川村歴史民俗資料館	807人
7月30日～8月2日	川俣町中央公民館	673人

### イ 展示数

日本画20点、洋画35点、彫塑15点、工芸美術15点、書16点 計101点

### ⑤ 県収蔵美術品巡回展

昭和45年に県文化センターを設立し、その中に県美術博物館を併設して以来、県出身者及び本県にゆかりのある優れた美術品を収集し現在までに400点余を越え、昭和46年から県文化センター展示室において、収蔵美術展として一般公開してきた。

しかし、県域が広いことからより多くの県民の鑑賞に供するため、「県収蔵美術品巡回展」を開催することとし、県内各都市を巡回展覧しているものである。本年は三島町・いわき市・本宮町の3ヶ所で開催した。

### ア 期日・会場・観覧者

(ア) 昭和56年10月17日～10月20日	三島町民センター	1,014人
(イ) 昭和56年10月24日～10月27日	いわき市文化センター	1,700人
(ウ) 昭和56年10月31日～11月3日	本宮町中央公民館	2,400人

(計 5,114人)

### イ 展示数

日本画 14点、洋画 18点、彫塑 7点  
工芸美術 7点、書 10点 計 56点

### (2) 芸術文化活動の促進

#### ① 県芸術祭

9月から11月までの3ヵ月を期間として、相双地区での主催行事が実施されるとともに、県下全域において参加行事が実施された。

#### ア 主催行事